

CHIEFTAIN

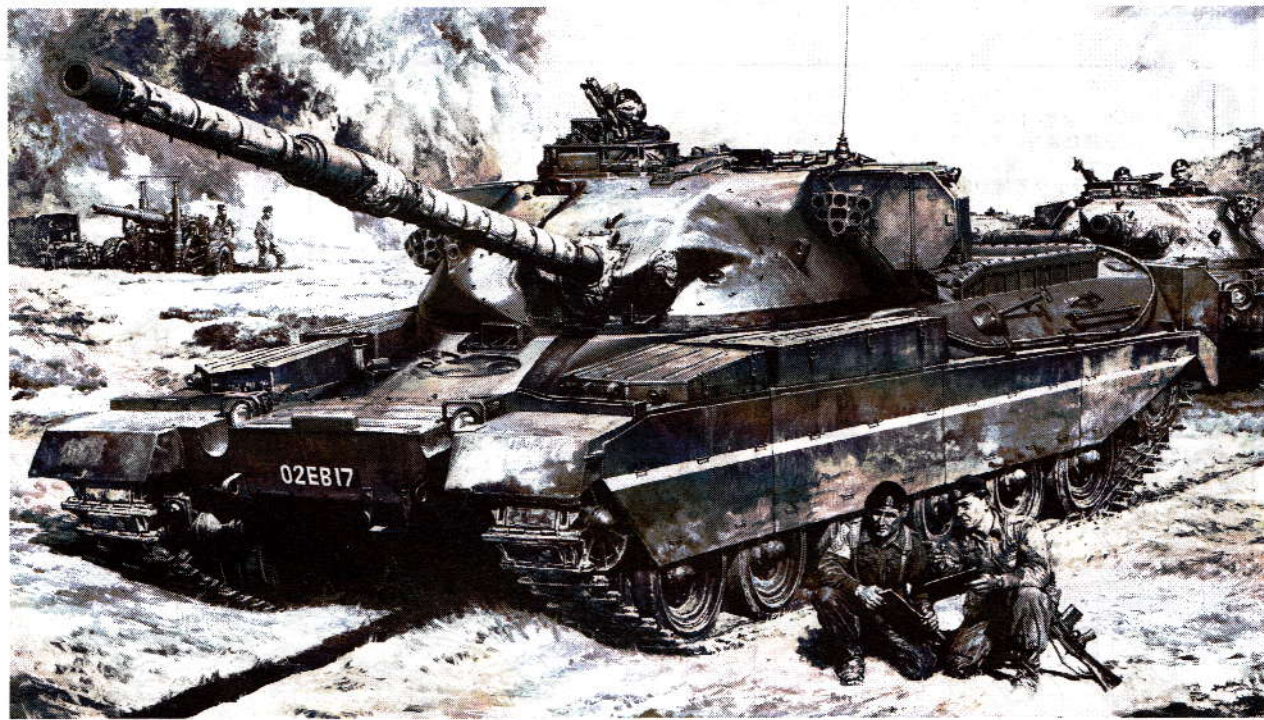
(PROTO TYPE)



1/25th SCALE

BRITISH ARMY 46ton MEDIUM TANK

イギリス陸軍中戦車 チーフテン



イギリス最初の戦車がリンコルシャー工場から音をたてて走り出してからもう50年にもなるが、この戦車の出現の時と同じような注意のまなこが向けられたのが1963年に量産が開始されたチーフテン戦車であった。中でも特にイギリスと海一つへだてたフランスと西ドイツが関心の目を向けた。それというのもそれぞれ自国でAMX-30、レオパルトという主力中戦車を同時期に開発中であったからである。この新鋭戦車は車体重量55トン、低いシルエットをもち、搭載している120mm砲は現存している戦車の中では最も威力をもち、火力と防御力のバランスのとれた戦車である。

★チーフテンの武装は新たに設計された120mm砲と、この砲と同軸にとりつけられた照準を合わせるために使われる12.7mm機銃、そしてコマンドーズキューポラにすえられた7.62mm機関銃から成っている。搭載砲に120mm砲が選ばれたのは今後10年間に現れる敵戦車を想定してのことである。この砲はイギリス重戦車コンカラーの120mm砲よりも軽く射程距離も長く、より強力な破壊力をもっている。発射速度は1分間8発である。砲弾は弾頭と薬きょうを分離式に搭載するため装填手の負担も軽減された。車体の後部に搭載された新型エンジンは2400rpmで700馬力まで出る6気筒のレイランドL160ディーゼルエンジンで、効率のよいこのエンジンは航続距離を従来の戦車よりも延長し、補助タンクまで使えば300マイルにも及ぶ。戦場で敏速に行動するためにはそのスピードが必要である。低い外形と重量の軽減をはかるため、操縦上がほとんどお向きの姿勢でいるのもこの戦車の特徴である。ドライバーは両足を車体の先端の方に伸ばし、自分の出入りするハッチのやや後方に頭をよりかからせ長時間のドライブでも疲労しないよう考慮された寝椅子のようなシート上で操縦するのである。

■チーフテンの戦闘システムには次のようなものがある。

(1)照準を合わせるための12.7mm機銃は120mm砲と同軸上にすえられ、攻撃の一番最初に連射弾を発射する距離は2,000mまで確実に敵をとらえることが出来る。これにより次に行われる120mm砲の攻

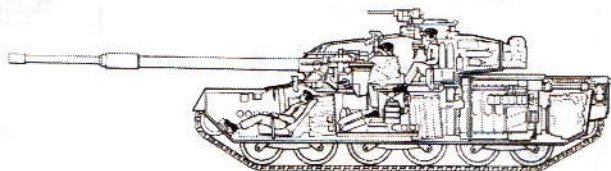
撃目標を確実にとらえることが出来る。

(2)コマンドーズキューポラは主砲塔とは関係なく、手動式の回転制御ができ、360度の視界をもっている。又ここには倍率10のペリスコープがついており夜間には赤外線暗視装置をとりつけることも出来るようになっている。コマンドーはこれにより昼夜の区別なく素早く敵をみつつけ砲手に正確にその目標物の位置を伝えることが出来る。又この砲塔の上にある7.62mm機銃は内部からコマンドーによりリモートコントロールされ近距離の敵を掃討することが出来る。

(3)赤外線サーチライト・夜間射撃を有効にするため砲塔の側面に大きなサーチライトがついている。これには通常のサーチライトと赤外線サーチライトとが一緒に組み込まれている。

(4)主砲安定装置・目標にねらいをつけた主砲は走りながら車体方向を変えても自動的に砲口が同一点の目標物を狙ったままにセットしておくことが出来る。これは今までの戦車の射撃位置にはなかった全く新しいものでどんな立地条件の戦場でも常に安定した攻撃を行うことが出来、120mmの威力をフルに発揮することが出来るのである。

★このようにさまざまな内容をもり込んだ近代戦車チーフテンは1970年から1980年までは兵器とその戦術が発展進化し、戦場の様子を一変せしめても戦車の根本的な概念に革命的な変化をもたらすことはないだろうという想定のもとに造られたのである。1963年より量産に入ったこの戦車は、それまで20年間イギリスの主力戦車であったセンチュリオンとその地位を交替したのである。



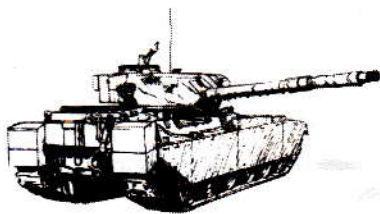
1/25th SCALE BRITISH ARMY 46ton MEDIUM TANK

《作る前にお読みください》

★お買い求めの際、または組み立ての前に必ず内容をお確かめください。万一不良部品、不足部品などありました場合には、当社カスタマーサービスにご相談ください。なお組み立てを始めた後は、製品の返品、交換などには応じられません。

★タミヤからはピン入りの接着剤タミヤセメントが別売されています。モデルをきれいに仕上げるタミヤセメントをお使いください。

★部品は組み立てのたびに1個ずつランナーから切



離してください。はじめから部品を全部切り離すと、なくしてしまう恐れがあります。

★あわせめから余分な接着剤がはみ出たときに、あわてて手でふき取るとかえって汚れが広がります。このようなときは、しばらく時間をおいて接着剤が乾いてから、ナイフで余分な接着剤をけずり落とすようにします。

★塗装するときは必ずプラスチックモデル用をお使いください。

注意

●このキットは組み立てモデルです。作る前に必ず説明書を最後までお読みください。また小学生などの低年齢の方が組み立てるときは、保護者の方もお読みください。また接着剤や塗料は、必ずプラスチック用をお使いください。(別売)

●工具の使用には十分注意してください。特にナイフ、ニッパーなどの刃物によるケガや事故に注意してください。

●接着剤や塗料は使用する前にそれぞれの注意書きをよく読み、指示に従って正しく使用し、使用するときは換気に十分注意してください。

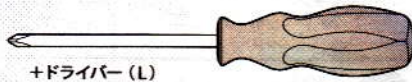
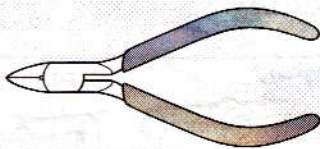
●小さなお子様のいる所での作業はやめてください。小さな部品の飲み込みや、ビニール袋をかぶつての窒息などの危険な状況が考えられます。

《用意する工具》

接着剤
(プラスチック用)



ニッパー



+ドライバー (L)



合成ゴム系接着剤

ピンバイス (ドリル刃3mm)



+ドライバー (M)

ピンセット



ナイフ

ASSEMBLY

● 塗装指示のマークです。タミヤカラーのカラーナンバーで指示しました。

TS-2 ●ダークグリーン / Dark green

X-10 ●ガンメタル / Gun metal

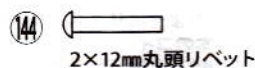
XF-1 ●フラットブラック / Flat black

XF-61 ●ダークグリーン / Dark green

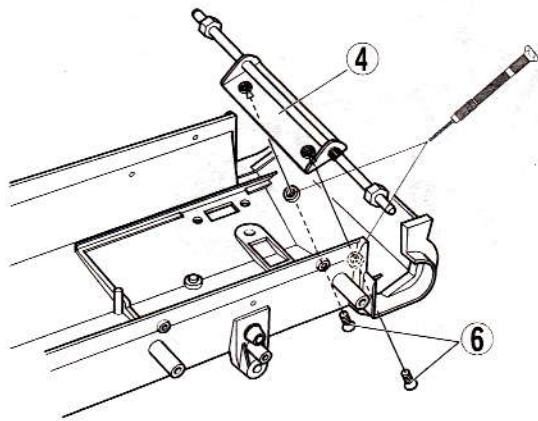


●組立説明図の中で塗装指示のない部品はTS-2(XF-61)ダークグリーンで塗装します。

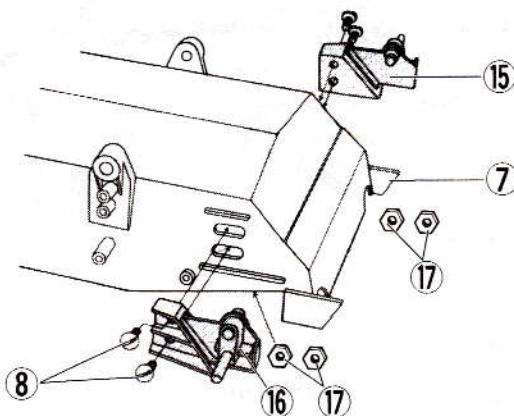
■使用するビス



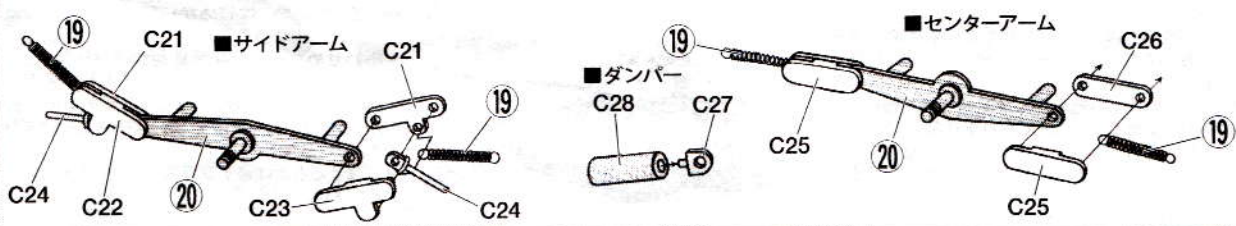
1 車体下部の図の部分に3mmの穴を開け、リヤシャフト④を3×10mm皿ビス⑥で固定します。



2 フロントのアイドラーベース⑮、⑯を3×8mmビス⑧と3mmナット⑰で、車体下部に固定します。アイドラーベースは、いちばん外側の位置で組み立ててください。

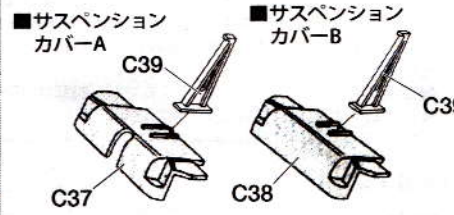
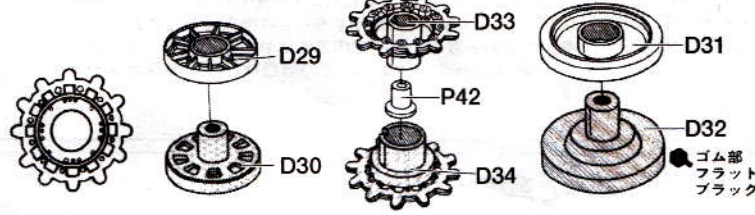


3 サスペンションアーム⑳にコイルスプリング⑲とC24をC21とC22,C23ではさんで接着します。これを4個作ります。 サスペンションアーム⑳にコイルスプリング⑲をC25とC26ではさんで接着し2個作ります。C27とC28を接着し8個作ります。

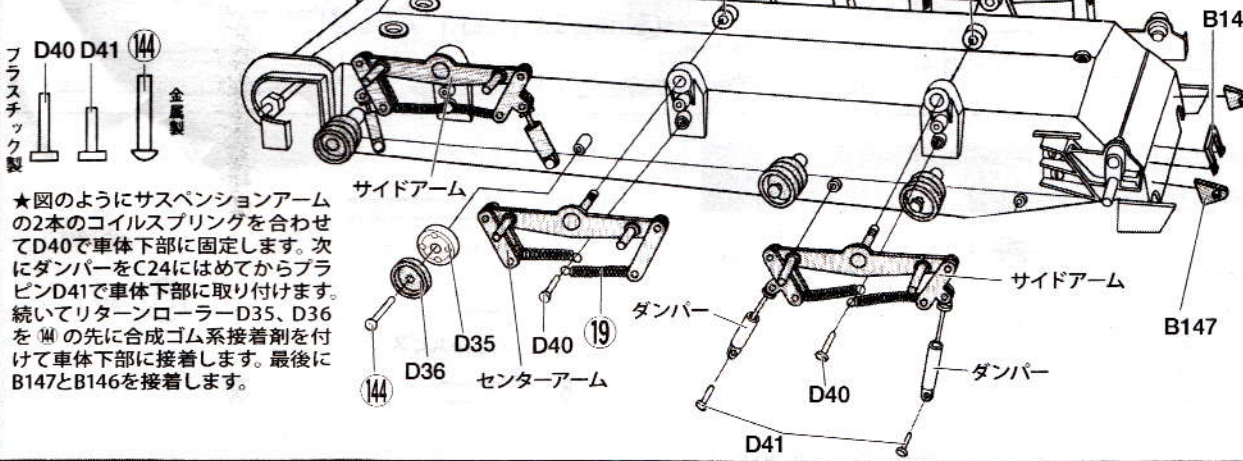


4 ドライブプロケットD33、D34とアイドラーホイールD29,D30はそれぞれ2個ずつ、ロードホイールD31,D32は12個組み立てます。ドライブプロケットは間にP42を入れるのを忘れないでください。

5 C37にC39を接着し2個作ります。C38にC39を接着し、4個作ります。

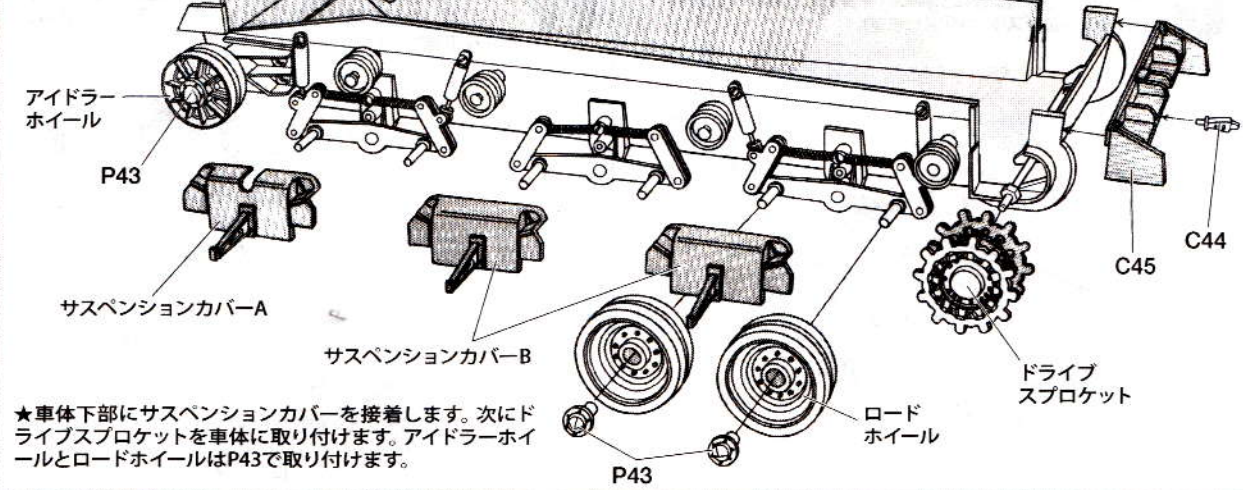


6 6個のサスペンションアーム⑳を車体下部にはめ、サスペンションアーム止めP157で止めます。



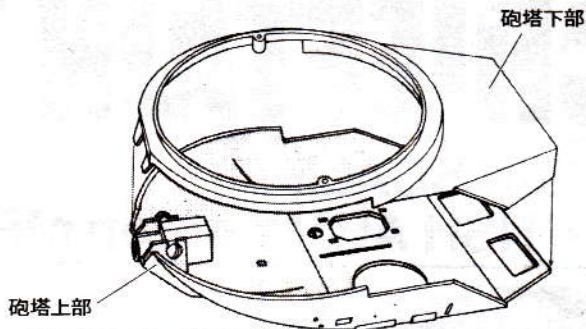
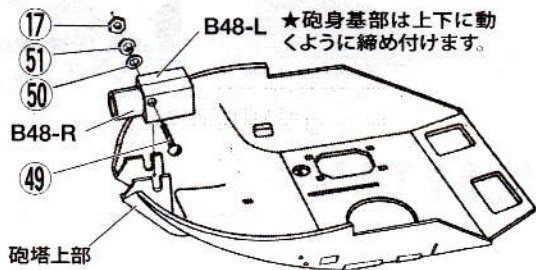
★図のようにサスペンションアームの2本のコイルスプリングを合わせてD40で車体下部に固定します。次にダンパーをC24にはめてからラビンD41で車体下部に取り付けます。続いてリターンローラーD35、D36を⑭の先に合成ゴム系接着剤を付けて車体下部に接着します。最後にB147とB146を接着します。

7

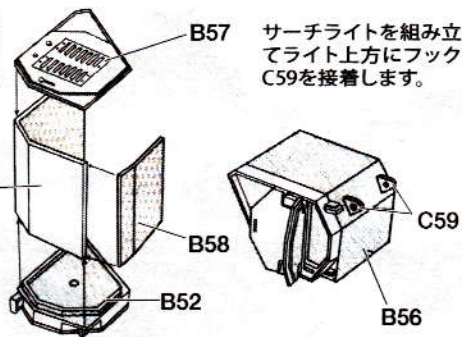
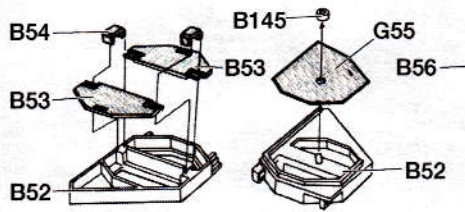


★車体下部にサスペンションカバーを接着します。次にドライブプロケットを車体に取り付けます。アイドラーホイールとロードホイールはP43で取り付けます。

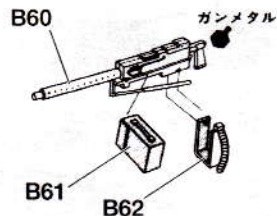
8 砲身基部B48-LとB48-Rを接着し3×20mmビス④で砲塔上部に止め、砲塔下部を接着します。



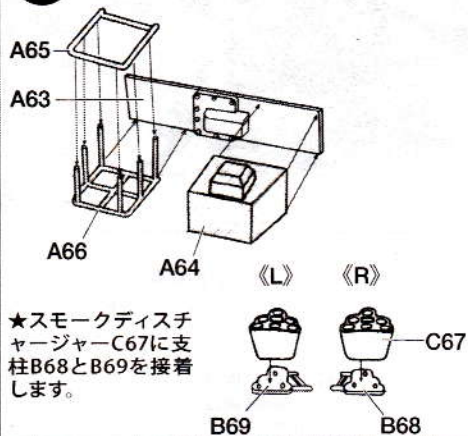
9 サーチライトB52にB53をはめ、B54をB52に接着します。接着剤がB53につかないように注意します。次にサーチライトの裏側にサーチライト用レンズG55を内側からフラットブラックで塗り取り付けます。



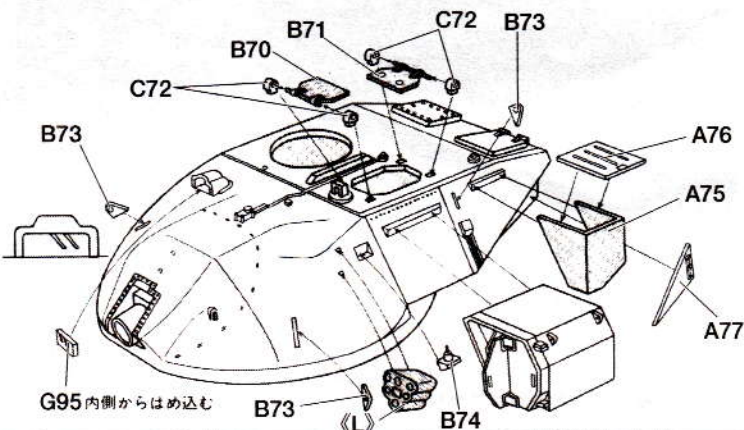
10 7.62mm機銃B60に弾倉B61を接着します。B62は、はめ込みにします。



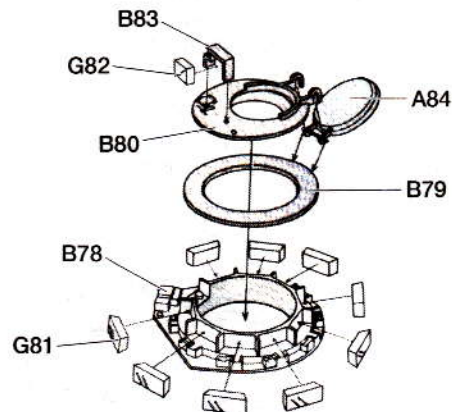
11 砲塔後部パネルA63にA64とA65、A66を取り付けます。



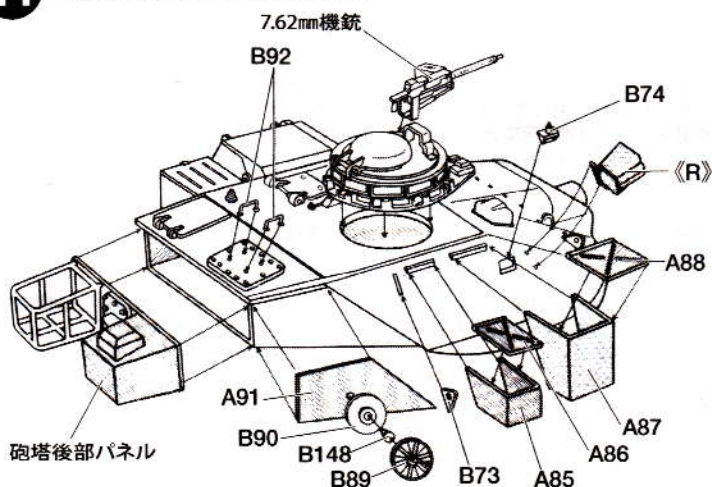
12 砲塔にサーチライト、スモークディスチャージャーなど砲塔部品とベリスコープG95(透明部品)を取り付けます。



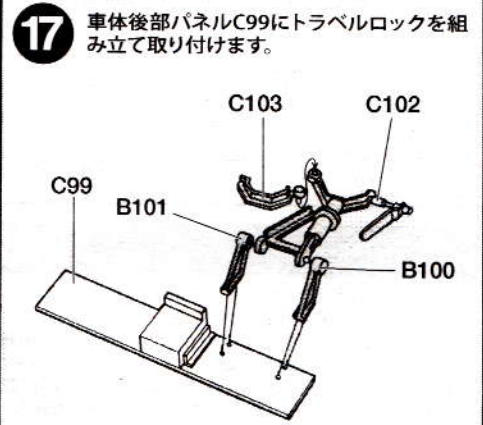
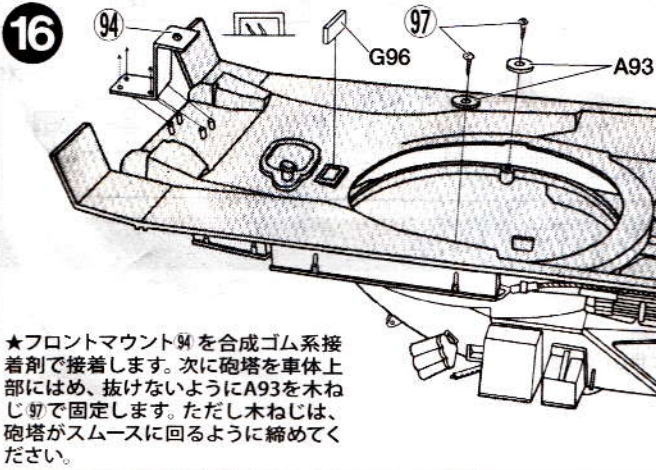
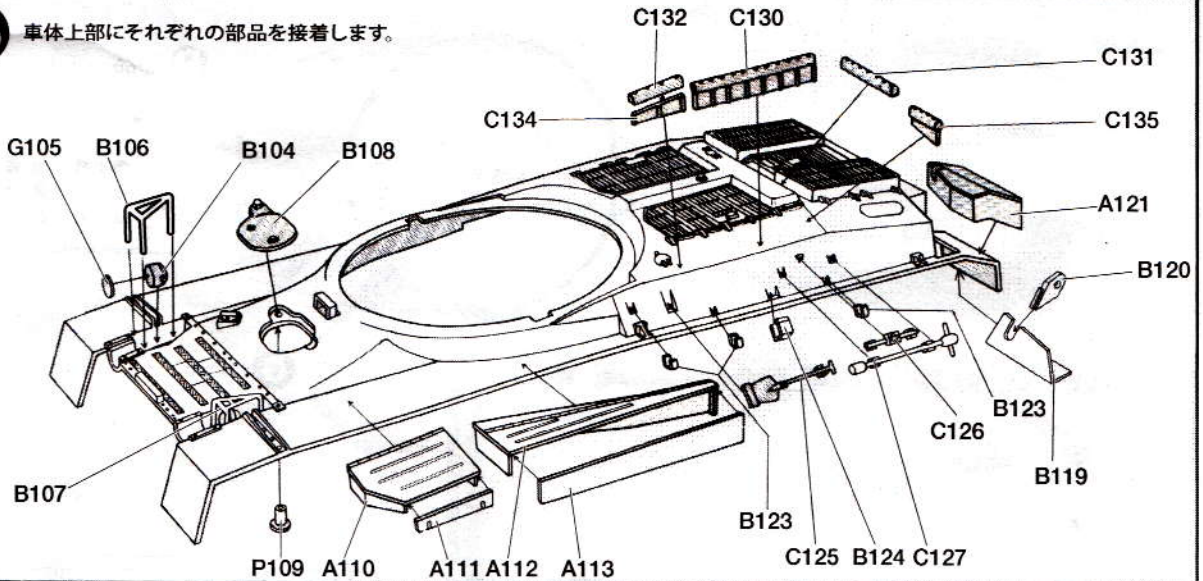
13 コマンダーズハッチ基部B78にレンズG81を接着し上からB79を取り付けます。次にコマンダーズハッチA84をはさんでB80をはめます。B80は回転するので接着しません。



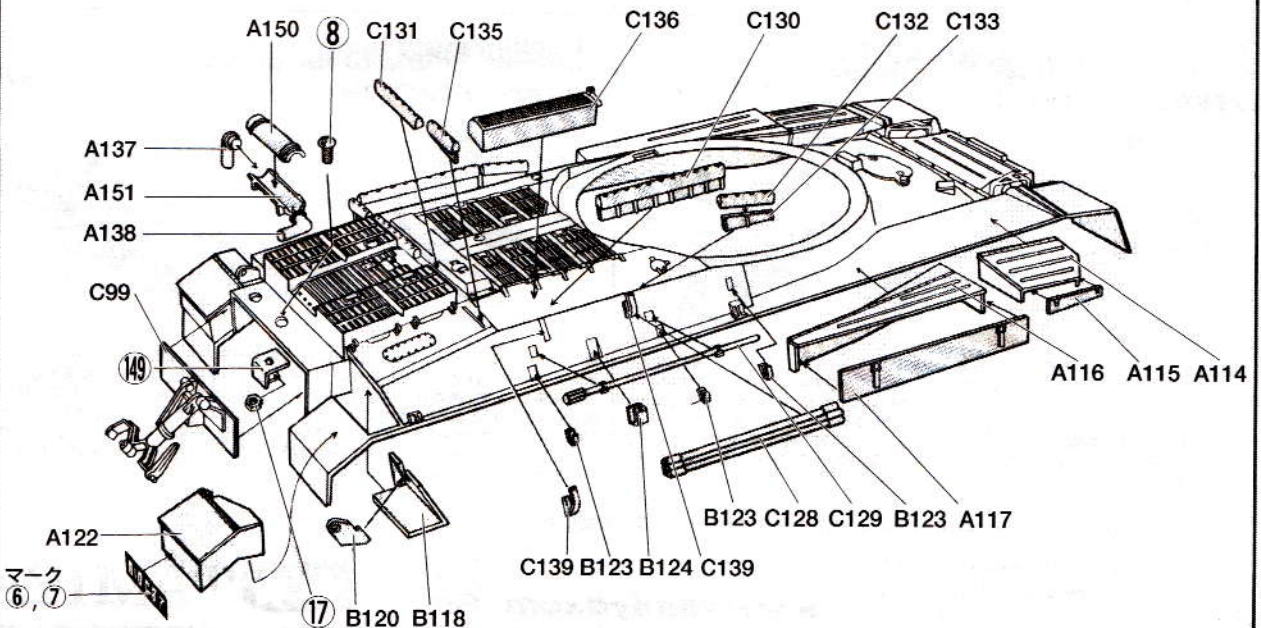
14 砲塔にその他の部品を接着します。



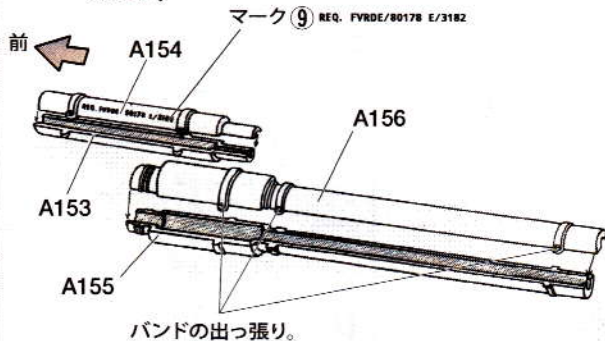
15 車体上部にそれぞれの部品を接着します。



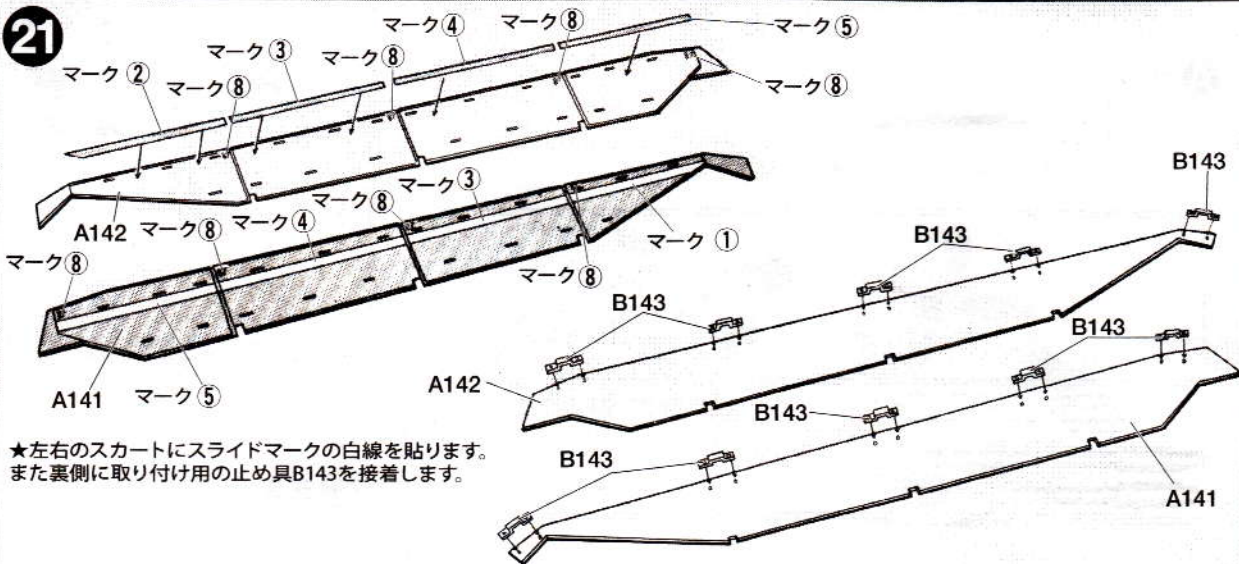
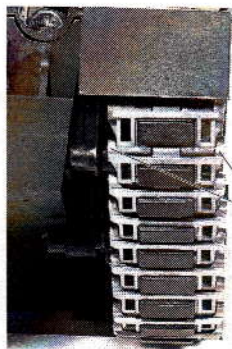
18 最初にリヤマウント8を3×8mm丸ビス⑧と3mmナット⑱で取り付けます。次に車体部品を図をよく見て取り付けてください。



19 砲身の先端部A153とA154、後部A155とA156を組み立てて連結します。このとき砲身のバンドの出っ張りがそろうように連結し、この出っ張りが左側に来るように砲塔に取り付けてください。



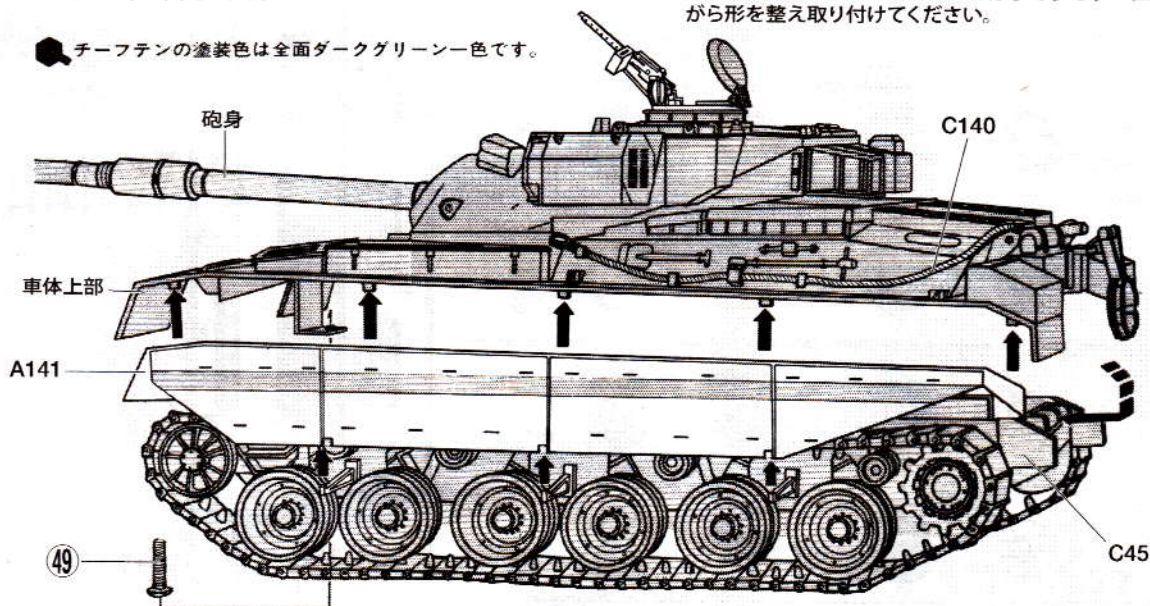
20 写真を参考に図の部分を広げながら、向きに注意してキャタピラをはめてください。キャタピラの張りがゆるい場合はキャタピラを1コマはずしてください。



22 車体下部のC45に車体上部のリアマウントを引っかけて取り付け、車体下部の前下側から3×20mm丸ビス④9で上下を固定します。

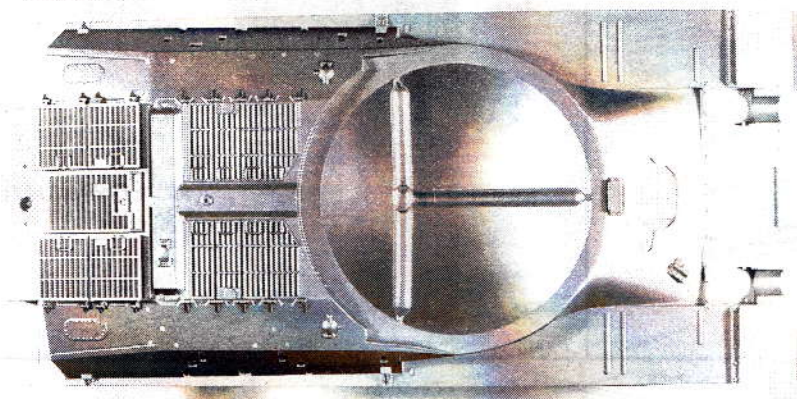
★左右のスカートは車体上、下部を合わせてから、車体上部の矢印の部分にはめてから車体下部の支柱に取り付けます。またワイヤーロープC140は手で少しずつ曲げながら形を整え取り付けてください。

●チーフテンの塗装色は全面ダークグリーン一色です。

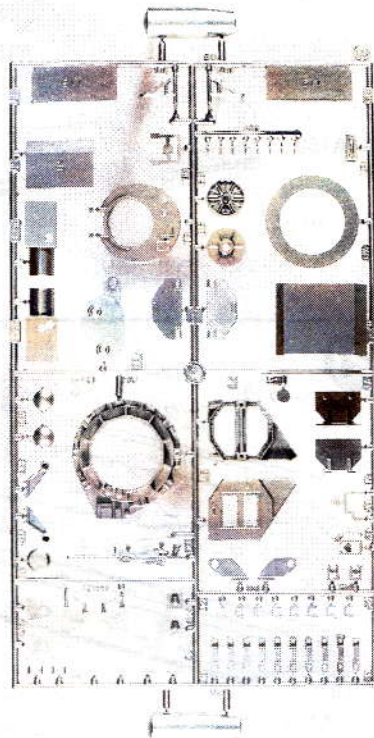


PARTS

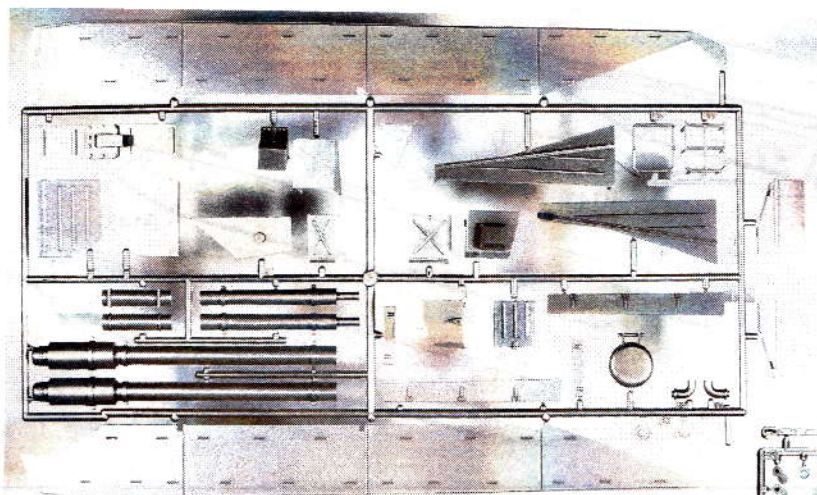
車体上部



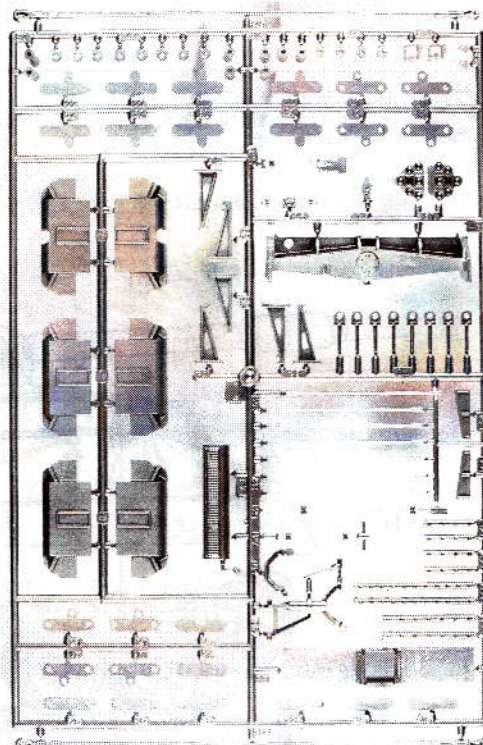
B 部品



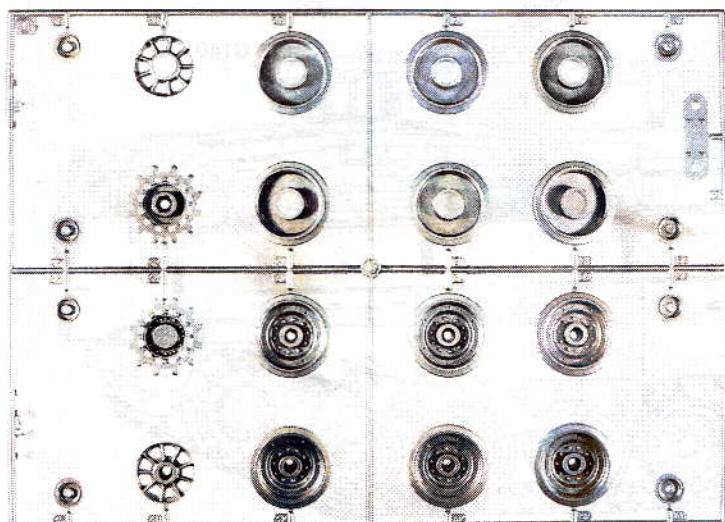
A 部品



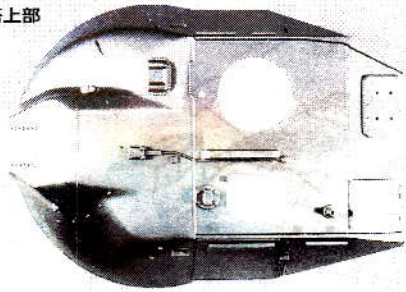
C 部品



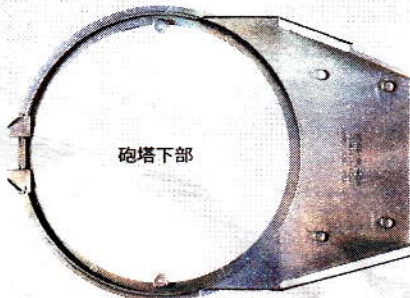
D 部品



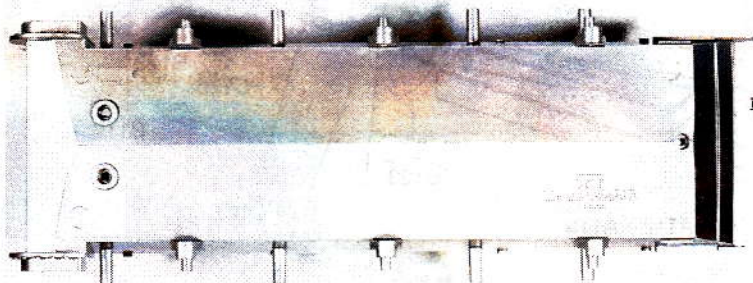
砲塔上部



砲塔下部



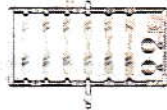
P 部品 ポリキャップ部品



車体下部

G 部品

透明部品

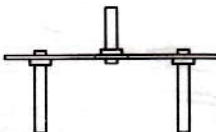


④ リヤシャフト

19 OMMMO
コイル
スプリング

14 リヤマウント

14 フロントマウント

20
サスペン
ション
アーム

16 アイドラーベースL

15 アイドラーベースR

APPLYING DECALS

《スライドマークのはり方》

- ① はりたいマークをハサミで切り抜きます。
- ② マークをぬるま湯に10秒ほどひたしてからタオル等の布の上に置きます。
- ③ 台紙のはしを手で持ち、はるところにマークをスライドさせてモデルに移してください。
- ④ 指に少し水をつけてマークをぬらしながら、正しい位置にずらしします。
- ⑤ やわらかな布でマークの内側の気泡を押し出しながら、押しつけるようにして水分をとります。

Model
MAGAZINE
INTERNATIONAL

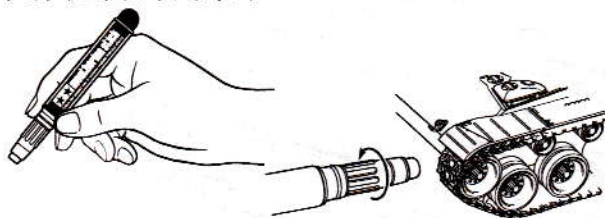
《タミヤモデルマガジン》

海外の一流モデラーの作品が豊富な写真で身近かに楽しめます。タミヤをはじめ、世界の製品をテーマに製作記事や資料など詳しく紹介。模型作りの参考に欠かせません。英語版、一部900円。(日本語要訳つき)お求めは当社カスタマーサービスまでお問い合わせください。

tamiya weathering stick

ITEM 87081, 87082
87086, 87087

タミヤウェザリングスティック

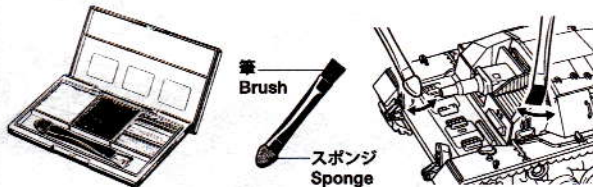


■立体的な汚し表現が手軽に楽しめるペンタイプのウェザリング材です。ペン先を回してスティック/リのようにカラーを出し、そのままモデルに塗りつけるだけ。キャタビラやフェンダー、ロードホイールなど足まわりにこびりついた泥や雪を立体的に再現するのに適しています。水性タイプなので水を含ませた筆を使ってカラーを薄く塗り広げたり、直接指先でカラーを広げること可能。泥を表現する「マッド」、雪を表現する「スノー」、明るい黄土色の「サンド」、乾いた土をイメージした「ライトアース」などが揃っています。

tamiya weathering master

ITEM 87079, 87080
87085, 87088

タミヤウェザリングマスター



■コンパクトな名刺サイズのパレットに、3色のカラーと専用ツールが付いています。筆にカラーを付けてサッと払うようにモデルにつけると、エッジを強調するドライブラシ感覚の汚し表現ができます。またスポンジは冬季迷彩や砲口のスス汚れなど、面にこすりつける表現に最適です。カラーはセミウェットタイプで定着性也十分。「サンド」「ライトサンド」「マッド」の3色のAセット、「スノー」「スス」「サビ」の3色のBセット、「アカサビ」「ガンメタル」「シルバー」の3色のCセット、「青焼け」「赤焼け」「オイル」の3色のDセットなどがあります。

万一不良部品、不足部品などありました場合には、当社カスタマーサービスまでお問い合わせください。

《お問い合わせ電話番号》静岡054-283-0003

(静岡へ自動転送) 東京03-3899-3765

営業時間/平日8:00~20:00/土、日、祝日8:00~17:00

www.tamiya.com



TAMIYA